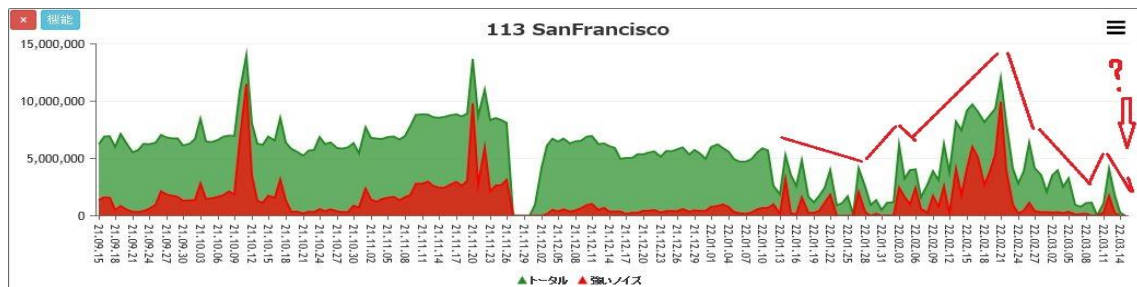


2年間以上つづいた【サンフランシスコ】のデータの急な変化から1月下旬から何度か“北米サンフランシスコの減衰—北米西海岸の M7 クラスの大きな地震の可能性”という警告を出しました。【サンフランシスコ】のデータはいったん上昇し、リバウンド状態を経て、再度減衰傾向になり、いよいよ大地震の発生の可能性が高まっています。やはりサンフランシスコを中心にした北米西海岸の地域での大地震の発生に要注意と考え現時点で、いままでの繰り返しになりますが以下の予想を出します。

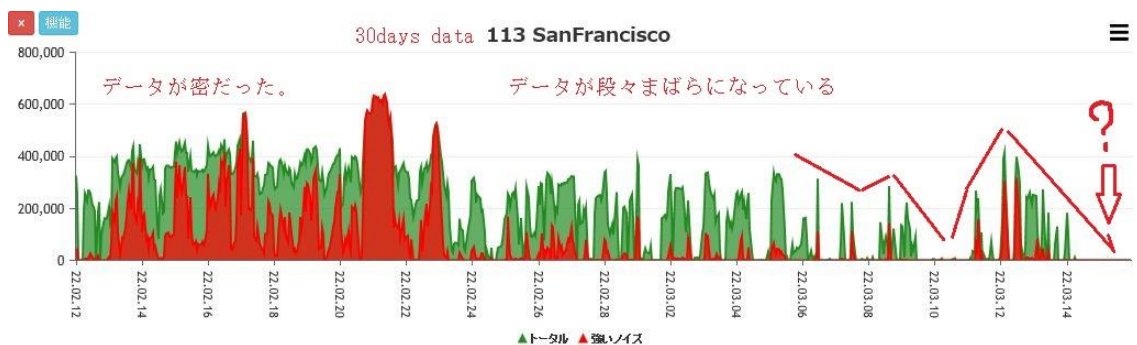
震源：北米カリフォルニア近辺、 地震の規模：M7 クラス

発生予想日：3月14日より1週間程度

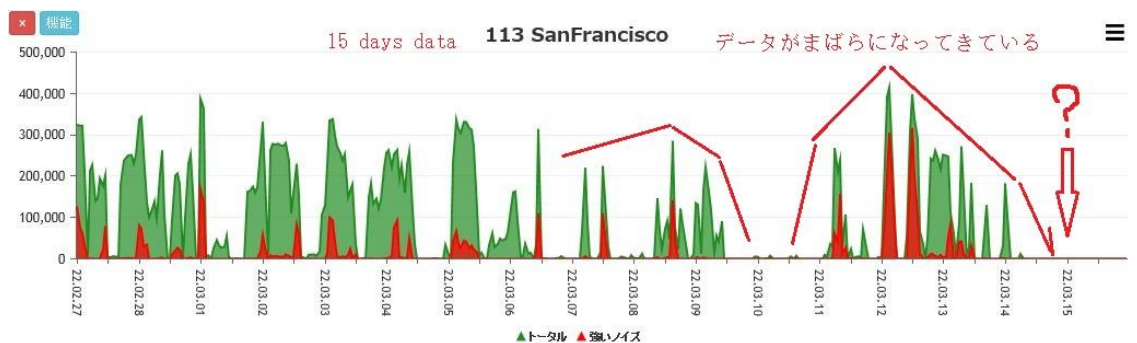
【サンフランシスコ】180日間（日毎）データ



【サンフランシスコ】30日間データ

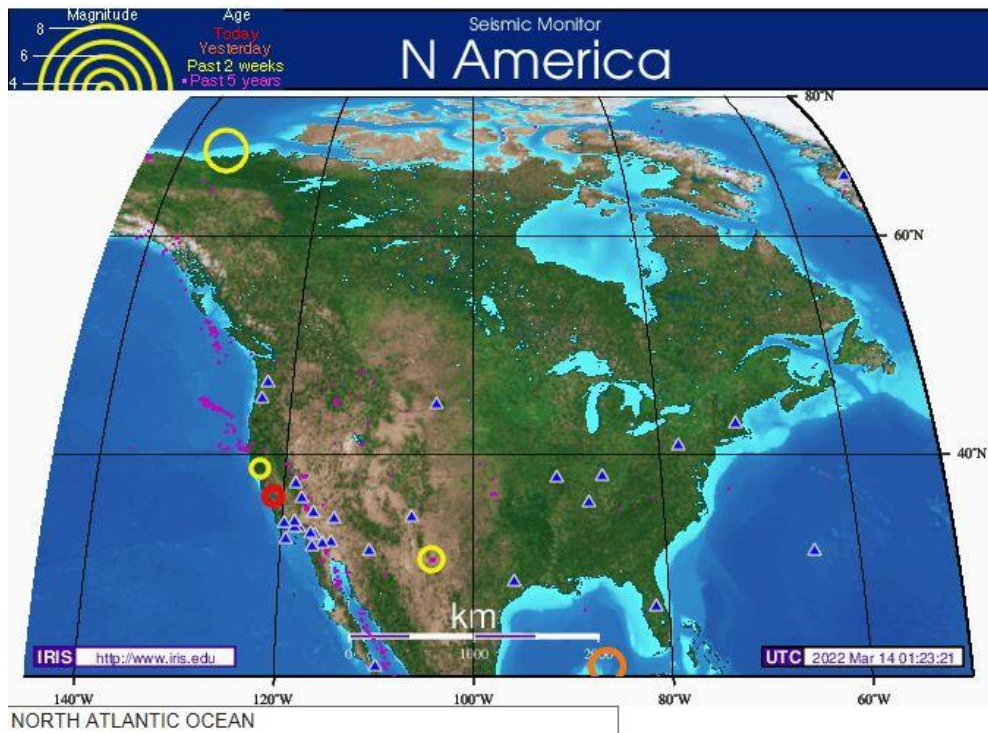


【サンフランシスコ】15日間データ



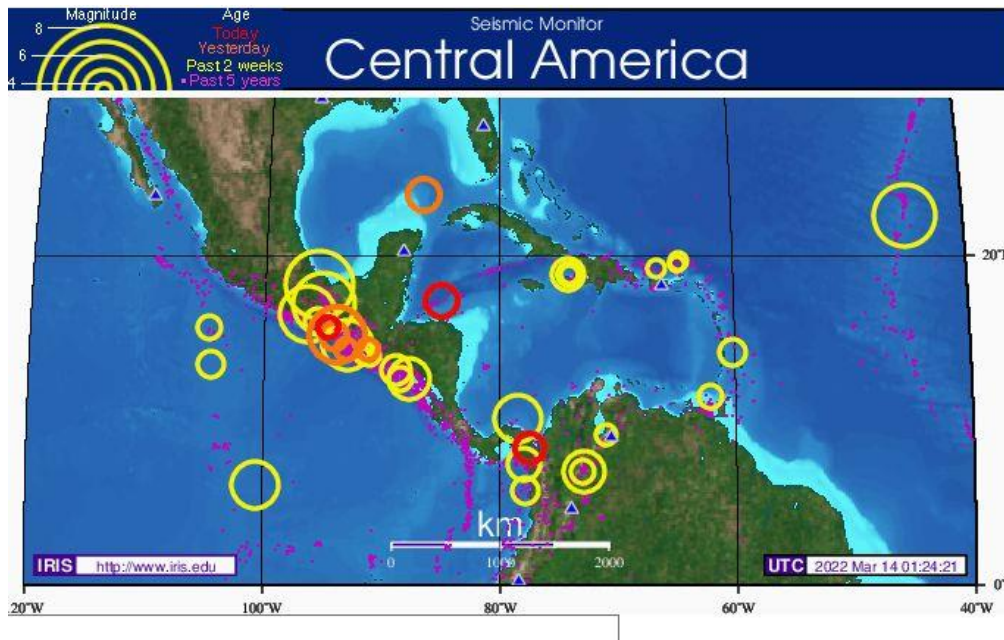
3月14日現在 北米の地震発生状況

>地震発生が大変少なく、大地震の前の静穏化の可能性はある。以下のメキシコ周辺の状況とは異なっている。



参考：3月14日現在 中米の地震発生状況

>メキシコを中心に M4,M5 クラスの中規模が多発している。



注：3月の月齢について>

3月18日が満月になり、その前後数日は大地震の発生しやすい、いわゆる満月トリガーにかかります。